

製品名: MSN マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81105**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	67.8kDa

抗原情報

遺伝子名	MSN
別名	moesin
遺伝子 ID	4478.0
SwissProt ID	P26038
免疫原	大腸菌で発現したヒト MSN の精製された組み換え断片。

背景

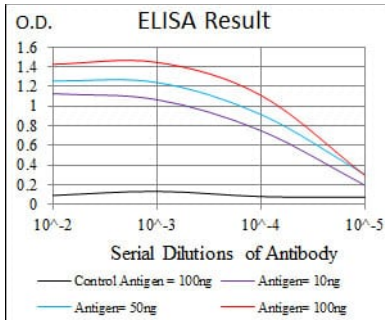
モエシン（膜組織化伸展スパイクタンパク質）は、エズリンやラディキシンを含む ERM ファミリーのメンバーです。ERM タンパク質は、細胞膜とアクチンを基盤とする細胞骨格との間の架橋剤として機能していると考えられています。モエシンは、細胞間認識や

シグナル伝達、そして細胞運動に重要な系状仮足やその他の膜状突起に局在しています。

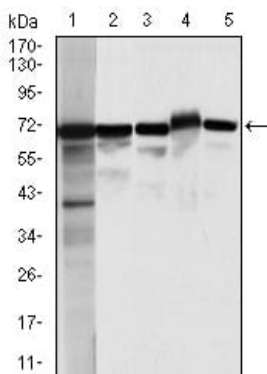
研究分野

-

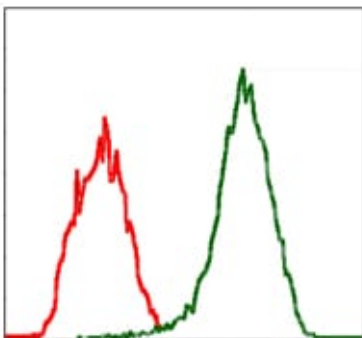
画像データ



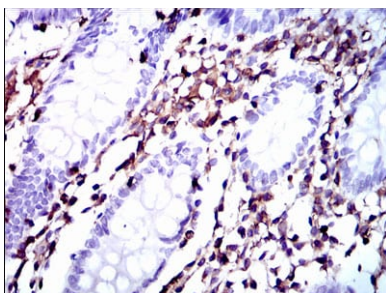
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



HeLa (1)、A431 (2)、Jurkat (3)、HEK293 (4)、および COS7 (5) 細胞溶解物に対する MSN マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



MSN マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による MSN マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト結腸組織の免疫組織化学分析。